

各 位

会 社 名 明豊ファシリティワークス株式会社
 代表者名 代表取締役社長兼会長 坂田 明
 (JASDAQ・コード1717)
 問合せ先
 役職・氏名 常務取締役経営企画本部長 大島和男
 電話 03-5211-0066

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 8 月 23 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期 個別業績予想の修正等

(1) 通期 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 り 当 期 純 利 益
					円 銭
前回予想 (A)	4,000	29	26	6	0.54
今回修正 (B)	4,200	70	70	30	2.68
増減額 (B-A)	200	41	44	24	—
増 減 率	5.0%	141.4%	169.2%	400.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	2,688	△243	△238	△150	△13.47

(2) 修正の理由

当社はコンストラクションマネジメント (CM) 手法を用いたプロジェクトマネジメント (PM) サービスを建設の分野で顧客に提供しております。当社の売上高は、この PM サービスを業務委託契約 (ピュア CM<図 1>) にて提供するか、工事請負契約 (アットリスク CM<図 2>) にて提供するかで大きく異なり、またその選択は個々の案件毎に顧客が行うため、事前に確度の高い売上高を予想することは困難であります。

当期の売上高につきましては、平成 22 年 8 月における状況を踏まえ 4,000 百万円と予想し、通期業績予想の修正を発表致しましたが、工事請負契約に基づく売上高が予想を上回る見込みとなりました。これは、コスト構造が透明な中で請負工事契約としての利便性も顧客が享受できるアットリスク CM 方式の良さが評価されたものであると考えております。

販売費及び一般管理費は、社内での支出抑制意識が継続している結果として、予想通りになる見込みであります。

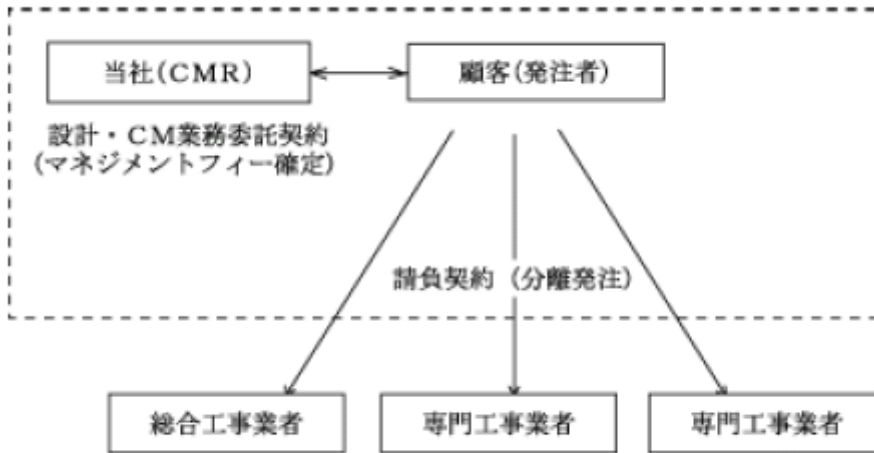
営業利益については、売上総利益の増加により増加し、営業利益予想 29 百万円に対して、修正 70 百万円になる見込みであります。

経常利益についても、同様の理由により、経常利益予想 26 百万円に対して、修正 70 百万円になる見込みであります。

当期純利益についても、同様の理由により、当期純利益予想 6 百万円に対して、修正 30 百万円になる見込みであります。

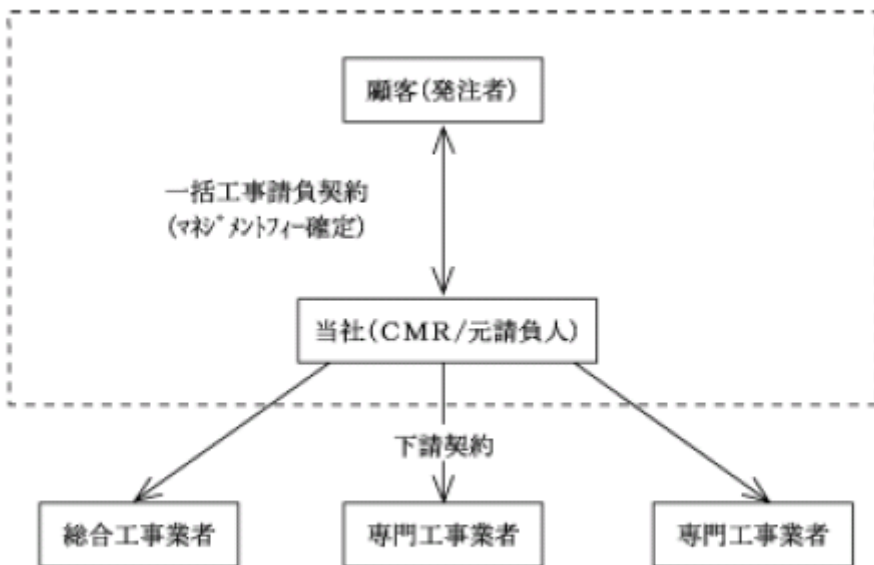
(その他投資者が会社情報を適切に理解・判断するために必要な事項)
 業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しておりますので、実際の決算数値と異なる可能性があります。

<図1>業務委託契約（ピュアCM契約）



(注) 当社はマネジメントフィーのみを売上計上する。

<図2>工事請負契約（アットリスクCM契約等）



(注) 当社は完成工事高(マネジメントフィーを含む)を売上計上し、その売上原価(専門工事業者との請負金額)を顧客(発注者)に開示する。

以 上